

令和6年度 札幌市 英語教育改善プラン

目標

札幌市の児童が主体的に英語を用いてコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

○「生徒の英語による言語活動の割合」において、50%以上の学校の割合（R5：90.4%⇒R6：目標値95%）

○ALT等のパフォーマンステスト等の補助の状況（3・4年 R5：39.6%⇒R6：目標値50% 5・6年 R5：80.7%⇒R6：目標値85%）

1. 目標に対する現状

改善が進んだ点

①ALT等の授業への参画の具体的状況が大幅に改善した。児童の発言や作文等に対するコメント・フィードバック

(小学校3・4年 R4:70.6%⇒R5:83.2%)

(小学校5・6年 R4:80.7%⇒R5:90.4%)

②ALT等の授業外での活動状況が大幅に改善した。

英語の授業以外の授業や学校行事での児童生徒との交流を実施

(R4:4.6%⇒R5:16.8%)

一定の目的を持った授業外での教育活動

(R4:2.5%⇒R5:10.7%)

③授業における、児童の英語による言語活動の割合が50%以上の学校の割合は、昨年度とほぼ横ばいだが、90%以上の学校が実施できている。

(R4:91.4%⇒R5:90.4%)

④ALT等の授業への参画の具体的状況（パフォーマンステスト等の補助）が他校種に比べ、低い状況。

(小学校3・4年 R5:39.6%)

(小学校5・6年 R5:80.7%)

(中学校 R5:95.9%)

(高等学校 R5:83.4%)

未だ改善が必要な点

2. 要因分析

①②③令和5年度札幌市英語教育改善プランにて、授業外の教育活動におけるALTの参画例、ALTと一緒に言う言語活動（やり取り）例の参考資料と動画を作成・周知し、研修等で取組を促進した。

④令和5年度札幌市英語教育改善プランにて、ALTと一緒に言う言語活動（やり取り）例の参考資料と動画を作成・周知し、言語活動の好事例については、一定の効果が得られたが、引き続き、横展開する必要がある。また、児童が主体的に英語で伝え合う力を伸ばすために、ALTや外国語ソフトウェアの効果的な活用が重要。また、パフォーマンステストにおけるALTの参画の在り方や、外国語学習ソフトウェアを活用したパフォーマンス評価の促進が必要。

3. 目標を達成するための施策・事業

【令和6年度の重点】

ALTやデジタル教材等を効果的に活用し、児童生徒一人一人が、授業内において英語で主体的に伝え合うことのできる多様な学びの充実を図る。

令和5年度札幌市英語教育改善プランにて、参考資料と動画を作成・周知したことにより、改善が見られたことから、令和6年度も新たな視点について、同様の取組を継続する。

①上記の重点において、次の2点を視点とする。

視点1：外国語指導助手（ALT）と一緒に言う言語活動とパフォーマンス評価の在り方

視点2：外国語学習ソフトウェア、デジタル教材、デジタル教科書の活用の在り方

②令和6年度の重点を踏まえた「パワーアップ研修」、令和6年度札幌市英語教育改善プラン中間報告会（悉皆研修）を実施する。「パワーアップ研修」は、小学校英語専科指導教員だけでなく、学級担任や他校種の教員も参加できるようにし、札幌市英語教育改善プラン会議にて作成した資料や動画を共有し、情報交流等ができる研修の場を設ける。

・本市の教員採用検査における、一定の英語力を有する小学校教諭受検者に対する優遇措置について、より一層周知を図っていく。

令和6年度 札幌市 英語教育改善プラン

目標

札幌市の生徒が主体的に英語を用いてコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

○CEFR A1レベル相当以上の英語力を取得している生徒及び相当以上の英語力を有すると思われる生徒の割合 (R5 : 48.8% ⇒ R6 : 目標値60%)

○「生徒の英語による言語活動の割合」において、50%以上の学校の割合 (R5 : 51.9% ⇒ R6 : 目標値70%)

1. 目標に対する現状

改善が進んだ点

①ALT等の授業への参画の具体的状況が改善した。

教師とのやり取りを生徒に示すやり取り・発表のモデル提示

(R4:95.9%⇒R5:99.0%)

発音のモデル・発音指導

(R4:93.8%⇒R5:96.9%)

②ALT等の授業外での活動状況が大幅に改善した。

英語の授業以外の授業や学校行事での児童生徒との交流を実施

(R4:55.7%⇒R5:61.9%)

一定の目的を持った授業外での教育活動

(R4:29.9%⇒R5:38.1%)

未だ改善が必要な点

①授業における、児童の英語による言語活動の割合が50%以上の学校の割合は、昨年度からやや減少した。

(R4:55.7%⇒R5:51.9%)

② R5全国学力・学習状況調査の結果から、「話すこと」について、社会的な話題について聞き、自分の考えとその理由を話すことに課題が見られた。

2. 要因分析

①②令和5年度札幌市英語教育改善プランにて、授業外の教育活動におけるALTの参画例、ALTと一緒に言う言語活動（やり取り）例の参考資料と動画を作成・周知し、研修等で取組を促進した。

①令和5年度札幌市英語教育改善プランにて、ALTと一緒に言う言語活動（やり取り）例の参考資料と動画を作成・周知し、言語活動の好事例については、一定の効果が得られたが、言語活動の好事例については、引き続き、横展開する必要がある。

②ALTを積極的に活用し、生徒が自分の考えや思い等を即興で伝え合う言語活動を通した授業づくりを図ることが重要。

3. 目標を達成するための施策・事業

【令和6年度の重点】

ALTやデジタル教材等を効果的に活用し、児童生徒一人一人が、授業内において英語で主体的に伝え合うことのできる多様な学びの充実を図る。

令和5年度札幌市英語教育改善プランにて、参考資料と動画を作成・周知したことにより、改善が見られたことから、令和6年度も新たな視点について、同様の取組を継続する。

①②上記の重点において、次の2点を視点とする。

視点1：外国語指導助手（ALT）と一緒に言う言語活動とパフォーマンス評価の在り方

視点2：外国語学習ソフトウェア、デジタル教材、デジタル教科書の活用の在り方

①②令和6年度の重点を踏まえた「パワーアップ研修」、令和6年度札幌市英語教育改善プラン中間報告会（悉皆研修）を実施する。「パワーアップ研修」は、小学校英語専科指導教員だけでなく、学級担任や他校種の教員も参加できるようにし、札幌市英語教育改善プラン会議にて作成した資料や動画を共有し、情報交流等ができる研修の場を設ける。

＜パワーアップ研修 研修テーマ＞

- ・ALTと一緒に言う言語活動
- ・英語教育とICT活用
- ・ALTと一緒に言うパフォーマンス評価

令和6年度 札幌市 英語教育改善プラン

目標

札幌市の生徒が主体的に英語を用いてコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

○CEFR A2/B1レベル相当以上の英語力を取得している生徒及び相当以上の英語力を有すると思われる生徒の割合

(A2レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合 R5 : 75.1% ⇒ R6 : 目標値 80%)

(B1レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合 R5 : 40.8% ⇒ R6 : 目標値 42%)

○「生徒の英語による言語活動の割合」において、50%以上の学校の割合 (R5 : 82.5% ⇒ R6 : 目標値85%)

1. 目標に対する現状

改善が進んだ点

①ALT等の授業への参画の具体的な状況が改善した。

パフォーマンステスト等の補助

(R4:56.7%⇒R5:83.4%)

②CEFR B1 (英検 2 級程度) レベル相当以上の英語力を取得している生徒及び相当以上の英語力を有する生徒の割合が、昨年度から大幅に改善した。

(R4:29.3%⇒R5:40.8%)

③授業における、生徒の英語による言語活動の割合が50%以上の学校の割合は、昨年度から大幅に改善した。

(R4:48.5%⇒R5:82.5%)

未だ改善が必要な点

①授業において、発話の50%以上英語で行っている教師の割合は、昨年度から減少した。

(R4:60.6%⇒R5:48.7%)

2. 要因分析

①②③令和5年度札幌市英語教育改善プランにて、授業外の教育活動におけるALTの参画例、ALTと一緒に行う言語活動(やり取り)例の参考資料と動画を作成・周知し、研修等で取組を促進した。また、教科別研究協議会で、学習指導要領に基づいた指導及び観点別評価の在り方等についての協議を通して理解が深まったことにより、改善が見られた。

①教師が英語で授業を行うことを基本とし、生徒が論理的に自分の考えやそう思う理由について即興で伝え合う力を身に付けることができるよう、ALTと一緒に行う言語活動を通じた授業づくりと、適切なパフォーマンス評価の実施において、指導と評価の一体化を図ることが必要。言語活動の好事例については、引き続き、横展開する必要がある。

3. 目標を達成するための施策・事業

【令和6年度の重点】

ALTやデジタル教材等を効果的に活用し、児童生徒一人一人が、授業内において英語で主体的に伝え合うことのできる多様な学びの充実を図る。

令和5年度札幌市英語教育改善プランにて、参考資料と動画を作成・周知したことにより、改善が見られたことから、令和6年度も新たな視点について、同様の取組を継続する。

①上記の重点において、次の2点を視点とする。

視点1 : 外国語指導助手 (ALT) と一緒に行う言語活動とパフォーマンス評価の在り方

視点2 : 外国語学習ソフトウェア、デジタル教材、デジタル教科書の活用の在り方

①令和6年度の重点を踏まえた「パワーアップ研修」、令和6年度札幌市英語教育改善プラン中間報告会(悉皆研修)を実施する。「パワーアップ研修」は、小学校英語専科指導教員だけでなく、学級担任や他校種の教員も参加できるようにし、札幌市英語教育改善プラン会議にて作成した資料や動画を共有し、情報交流等ができる研修の場を設ける。

＜パワーアップ研修 研修テーマ＞

- ・ALTと一緒に行う言語活動
- ・英語教育とICT活用
- ・ALTと一緒に行うパフォーマンス評価

札幌市教育委員会

校種	指標内容	2023		2024		2025		2026		2027		
		目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	
高等学校	①CEFR A2レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合(%)	70	75.1	80		80		85		85		
	①CEFR B1レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合(%)	35	40.8	42		42		45		45		
	②授業における、生徒の英語による言語活動の割合(%)	50	82.5	85		85		90		90		
	③スピーキングテストとライティングテストの両方を実施した割合(%)	55	23.1	55		60		65		70		
	④「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の整備状況	設定(%)	100	100	100		100		100		100	
		公表(%)	90	62.5	90		90		95		95	
		達成状況の把握(%)	90	75	90		90		95		95	
	⑤CEFR B2レベル相当以上の英語力を有する英語担当教員の割合(%)	80	88.8	90		90		95		95		
⑥英語担当教員の授業における英語使用状況(%)	65	48.7	65		65		70		70			

校種	指標内容	2023		2024		2025		2026		2027		
		目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	
中学校	①CEFR A1レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合(%)	60	48.8	60		60		65		65		
	②授業における、生徒の英語による言語活動の割合(%)	70	51.9	70		70		75		75		
	③スピーキングテストとライティングテストの両方を実施した割合(%)	95	70.8	95		95		95		95		
	④「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の整備状況	設定(%)	100	87.6	100		100		100		100	
		公表(%)	65	49.5	65		65		70		70	
		達成状況の把握(%)	70	53.6	70		70		75		75	
	⑤CEFR B2レベル相当以上の英語力を有する英語担当教員の割合(%)	50	47.6	50		55		60		65		
⑥英語担当教員の授業における英語使用状況(%)	65	35.7	65		65		70		70			

校種	指標内容	2023		2024		2025		2026		2027	
		目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値
小学校	「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の整備状況	設定(%)	100	89.3	100		100		100		100
		公表(%)	60	50.3	60		65		70		75
		達成状況の把握(%)	90	69.5	90		90		95		95